

# 農経新聞

## 豊洲で品種見本市

### 種苗18社が品種PR

青果育種研

青果卸売会社と種苗会社で組織する青果育種研究会(会長＝岩澤均・東京千住青果社長)は、東京・豊洲市場で「第160回品種見本市」を開催した。種苗会社18社が出展し、同市場での取扱いや認知度アップを狙う品種を紹介した。見本市に先立って行われたセミナーでは、神奈川県の大太陽光型統合環境制御ハウスでトマト生産を行うベジアートの古川慎一社長が、日本人のトマト消費拡大に向けた取組みについて説明した。

「このキュウリを豊洲産地の要望を受け、サカ市場に出荷したい」とのタネ(神奈川県)ではイボなしの「フリーダムSK4」

市場関係者や生産者、スーパーのバイヤーらで賑わった品種見本市(写真はサカタのタネのブース)



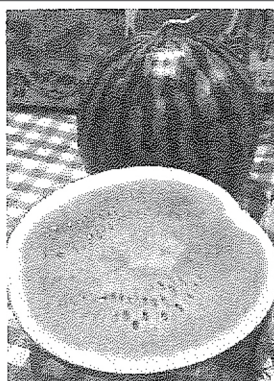
「109」を出品。果実長が20〜21センチと従来品種に比べ長くなった。さらに中央の胎座を小さくしたこと、パリパリとした食感に。従来品種は主



一方、「とにかく売りたい品種を持ってきた」というのは大和農園(奈良県)。タネ無しスイカの「たべほづたい赤王」



今回、見本市初出展となったのが小林種苗(兵庫県)。キャベツ「おかわり」(左写真上)は暑さに強く、「2か月ほど収穫



(上写真)は、肉質が詰まりシャリ感に富んだ品種。糖度は12〜13度になる。

「プロックカットにしても果肉がくずれにくいというえどリップが少なく、「高齢者施設などの給食に味も染込みやすい」とのメリットがある。

「NX-AF722」(左写真下)を紹介。軟白部分にテリがあり、曲がりの少ない品種となる。

また、新品種ではタキイ種苗(京都府)が丸サヤのオクラ「ヘルシエ」を出品。同社の既存品種に比べ約3倍の粘りが出る。横浜植木(神奈川県)ではタネ無しピーマン

「タネなっぴー」を紹介した。料理人の来場も多い豊洲市場に向けて、アサヒ農園(愛知県)では、「わさびルッコラ」をP

せす圃場においても大丈夫」と在圃性に優れる。葉は肉厚でやわらかく、最高糖度13度に。青果用のみならず業務・加工用にも向き、大手外食チェーンで採用されている。

R。ワサビ風味で、サラダやおつまみにも適している。

見本市にはベジアートも出展。自社栽培の中玉トマト「シリアンルー」(サンマルツァーノリゼルバ)、神奈川県が

育成した「湘南ボモロン」を紹介した。同社では「生食でも加熱してもおいしく食べられる品種を生産・供給することで、トマトの消費拡大に寄与していきたい」としている。